

雑 報

定例研究報告会の開催

(昭和52年7月～9月)

<回>	<年月日>	<報 告 題 名>	<報 告 者>
9	昭52. 7. 13	昭和52年度特別研究計画案について……………	河邊 宏 技官
	"	統計情報部における電算機利用の経験……………	廣嶋 清志 技官
10	昭52. 9. 14	人口急増・急減地域における学区再編について……………	若林 敬子 技官

国際人口学会1977年総会

国際人口学会 (International Union for the Scientific Study of Population) の1977年総会 (1977 General Conference) が、1977年8月8日から13日までの間メキシコ市で開催された。

本年は国際人口学会創立50年に当たり、その記念の意味も含めて盛大に行なわれた模様である。全世界から (中国は不参加) 1,000名を超える多くの人口研究者が集り、日本からも黒田俊夫 (日本大学教授)、村松稔 (国立公衆衛生院衛生人口学部長)、それから国際連合在勤の河野稠果 (人口部推計課長) その他の諸氏が参加された。

総会は、8日 (月) の Opening Plenary Session における G. Ohlin (Sweden) および E. Iglesias (Uruguay) の "Population and Socio-Economic Development" によって幕を開け、27 Formal Sessions, 11 Informal Sessions および 2 Side Meetings に分けられ、それぞれ報告と活発な討論が行なわれ、最終13日 (土) の Closing Plenary Session における B. Colombo (Italy) および Simone Veil (France) の "Human Rights, Ideology and Population Policies" をもって幕が閉じられた。なお、学会の長老である Frank W. Lorimer (U.S.A.) および Alfred Sauvy (France) が本学会創立50年記念講演を行ない、人口を科学する叡智と歴史に対する人口研究者の責任を訴えている。

日本関係者の報告としては、10日 (水) にかかれた Formal Session 5. 2 (The Demography of Metropolitan Growth and Planning) に参加した黒田教授の "Dimension, dynamic and patterns of metropolitanization" および 11日 (木) にかかれた Formal Session 2. 2 (Methods in Measuring the Family Life Cycle) に参加した河野氏の "The concept of the family life cycle as a bridge between demography and sociology" があった。

国際人口学会の総会は4年ごとに開催されており、今回はマニラで開かれることになった由である。

(山口喜一記)